

平塚定二郎 （ひらつか じやうじ） 官僚、ドイツ語學者。安政六年七月十二日生れ、
昭和十六年没（一八五九—一九四一）。外國語學校卒。參事院書記生を振出し
て、農商務省、外務省を経て、明治十八年會計検査院に轉じ、爾來四
十年奉職、次長として退官。この間、二十一年院長渡邊昇の随員として
歐洲巡察、また憲法草案審議會に關はる起算に參與。平塚らいつのり
父。

ドイツ語に秀れ、『獨逸文法楷梯』(附篇—辭彙・明治十六年二月五
日荒川邦藏出版、高屋一介賣物)筆を著はす。